

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課・宮崎県衛生環境研究所

□ 宮崎県第15週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,285人(定点あたり33.2)で、前週比119%と増加した。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は水痘であった。

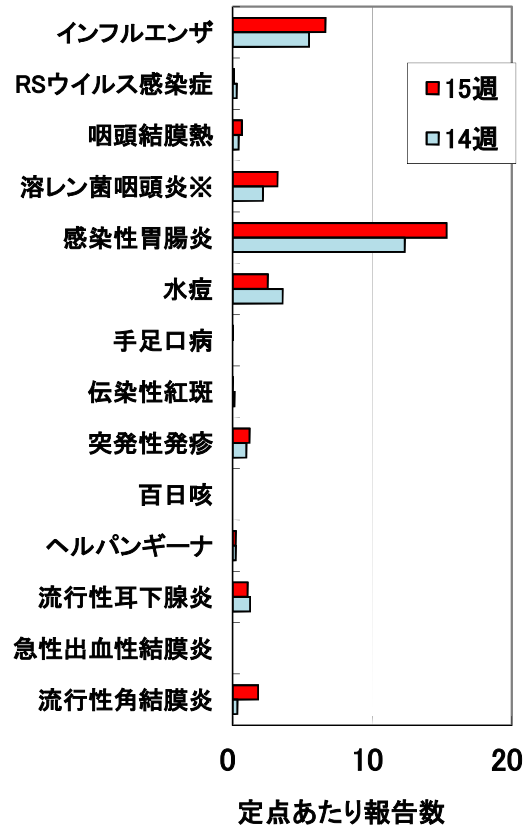
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

・報告数は116人(3.2)で前週比149%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(2.8)の約1.2倍である。延岡(9.8)、日向(5.0)保健所からの報告が多く、年齢別では3歳から7歳が全体の約6割を占めた。

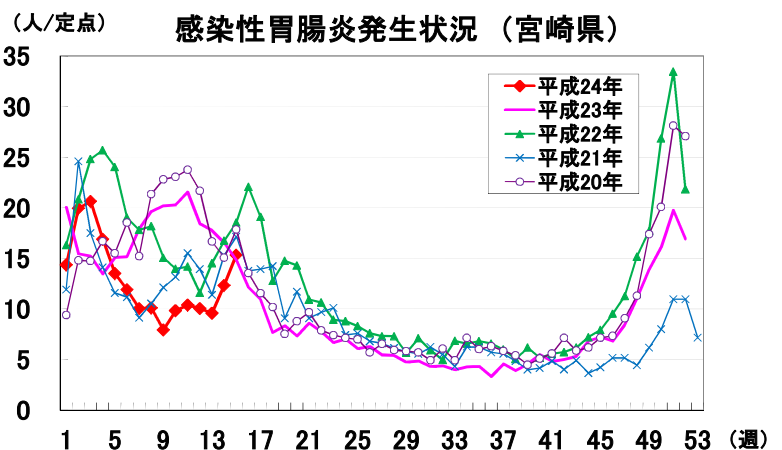
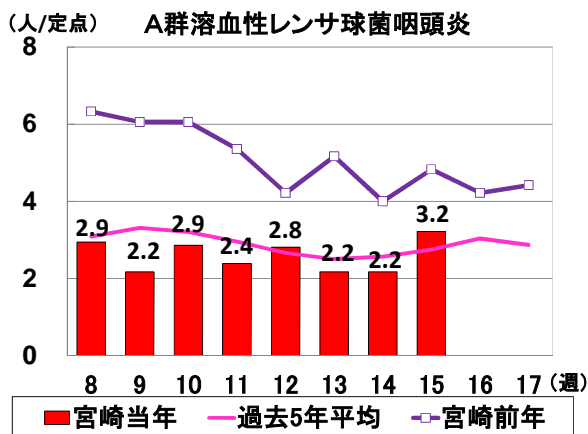
【感染性胃腸炎】

・報告数は552人(15.3)で前週比124%と2週連続で増加した。例年同時期の定点あたり平均値(15.6)と同程度である。都城(23.8)、小林(21.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

《前週との比較》



※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

○細菌性髄膜炎：宮崎市(1人)保健所から報告された。患者は5歳で、病原体は不明。
○マイコプラズマ肺炎：高鍋(1人)保健所から報告された。患者は10歳で、病原体は *Mycoplasma pneumoniae*。

□ 流行警報開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	感染性胃腸炎(23.8)
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.8)
日南	咽頭結膜熱(4.0)
小林	感染性胃腸炎(21.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

流行警報開始基準値：咽頭結膜熱(3.0)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)

感染性胃腸炎(20.0)

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 6 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状	その他
2類	結核	宮崎市	20 歳代	その他の結核 (リンパ節結核)	なし	—
			70 歳代	肺結核	なし	—
		都城	80 歳代	疑似症患者	痰	—
		日南	20 歳代	無症状病原体保有者	—	—
			20 歳代	無症状病原体保有者	—	—
		小林	60 歳代	無症状病原体保有者	—	—
3類	腸管出血性大腸菌感染症	高鍋	70 歳代	—	腹痛、水様性下痢 血便	原因菌：O157 (VT1, VT2産生)
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	40 歳代	—	ショック、肝不全、 腎不全、DIC 等	血清群：B群

■ 病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）（平成 24 年 4 月 16 日までに検出）

□ ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
ヒトメタニューモウイルス	2	女	3.14	不明の集団かぜ、39.4℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	4.16
パラインフルエンザ1型	3	女	3.14	不明の集団かぜ、38.7℃、気管支炎	咽頭ぬぐい液	4.16

※PCR法により検出

□細菌

報告なし。

■ 全国第 14 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 19.0 で、前週比 82%と減少した。今週増加した主な疾患は感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

感染性胃腸炎の報告数は 23,464 人 (7.5) で、前週比 106%と増加した。愛媛県 (14.8)、大分県 (13.5)、福岡県 (12.5) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 3 歳で全体の約半数を占めた。

インフルエンザの報告数は 29,736 人 (6.0) で、前週比 60%と減少した。福井県 (20.9)、福島県 (13.6)、鳥取県 (12.2) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 38%、6 歳から 9 歳が 21%、10 歳から 14 歳が 10%、15 歳から 19 歳が 4%、20 歳から 59 歳が 23%、60 歳以上が 4%を占めた。

□ 全数把握対象疾患

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	272 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	28 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E 型肝炎	2 例	A 型肝炎	3 例	デング熱	3 例
	レジオネラ症	9 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	1 例	急性脳炎	6 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	後天性免疫不全症候群	13 例	梅毒	6 例
	風しん	6 例	麻しん	6 例		

■月報告対象疾患の発生動向 <3月>

□性感染症

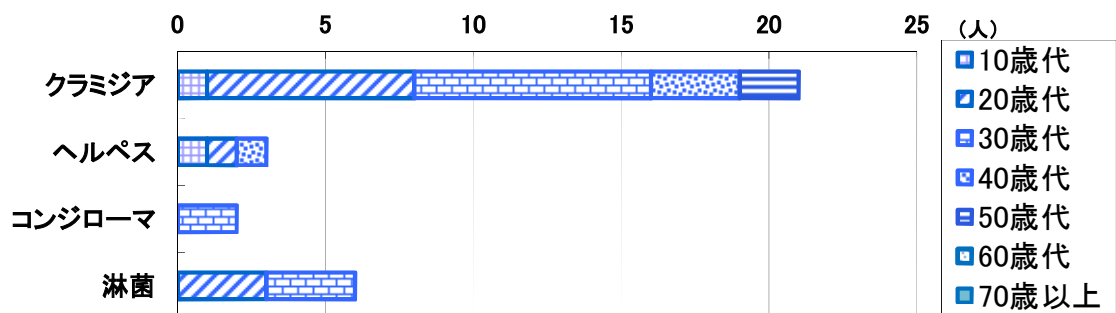
【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は32人（2.5）で、前月比107%と増加した。また、昨年3月（3.2）の約8割であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数21人（1.6）で、前月の約1.1倍、前年の約8割であった。都城（3.0）保健所からの報告が多く、男性11人・女性10人で、30歳代が全体の約4割、20歳代が約3割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人（0.23）で、前月及び前年の半数であった。すべて女性で、10歳代後半・20歳代・40歳代がそれぞれ1人であった。
- 尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月の2倍、前年と同数であった。男性・女性それぞれ1人で、30歳代であった。
- 淋菌感染症：報告数6人（0.46）で、前月の1.5倍、前年の約8割であった。すべて男性で、20歳代と30歳代がそれぞれ3人であった。

年齢別性感染症報告数(3月)



【全国】 定点医療機関総数：958

定点医療機関からの報告総数は3,794人（4.0）で、前月比108%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,953人（2.0）で前月比111%、性器ヘルペスウイルス感染症704人（0.73）で前月比109%、尖圭コンジローマ411人（0.43）で前月比105%、淋菌感染症726人（0.76）で前月比101%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は33人（4.7）で前月比157%と増加した。また、昨年3月（5.6）の約8割であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数28人（4.0）で、前月の約1.6倍、前年と同程度であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数2人（0.29）で、前月の約7割、前年の約3割であった。すべて5歳未満の報告であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数3人（0.43）で前年と同数であった（前月は報告なし）。すべて70歳以上の報告であった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：469

定点医療機関からの報告総数は2,259人（4.8）で、前月比98%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,924人（4.1）で前月比98%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症283人（0.60）で前月比95%、薬剤耐性緑膿菌感染症52人（0.11）で前月比138%、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はなかった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2012年 第15週(04月09日～04月15日)

疾病名		第14週	第15週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	323	392	56	141	37	29	75	14		21	19
	定点あたり	5.47	6.64	3.50	14.10	5.29	5.80	15.00	2.33	0.00	3.50	9.50
RSウイルス 感染症	報告数	11	4	1	1				1		1	
	定点あたり	0.31	0.11	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	16	24		3	7	12				2	
	定点あたり	0.44	0.67	0.00	0.50	1.75	4.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	78	116	17	6	39	12	6	11	2	20	3
	定点あたり	2.17	3.22	1.70	1.00	9.75	4.00	2.00	2.75	2.00	5.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	444	552	95	143	78	47	64	55	18	43	9
	定点あたり	12.33	15.33	9.50	23.83	19.50	15.67	21.33	13.75	18.00	10.75	9.00
水痘	報告数	129	91	25	17	7	6	10	11		15	
	定点あたり	3.58	2.53	2.50	2.83	1.75	2.00	3.33	2.75	0.00	3.75	0.00
手足口病	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	5	1			1						
	定点あたり	0.14	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	35	44	16	5	10	1	2	6		4	
	定点あたり	0.97	1.22	1.60	0.83	2.50	0.33	0.67	1.50	0.00	1.00	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	8	8	2	2	2			2			
	定点あたり	0.22	0.22	0.20	0.33	0.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	45	39	6	6		4	1	14	2	1	5
	定点あたり	1.25	1.08	0.60	1.00	0.00	1.33	0.33	3.50	2.00	0.25	5.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	11	9	2							
	定点あたり	0.33	1.83	3.00	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数	1	1	1								
	定点あたり	0.14	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2	1						1			
	定点あたり	0.29	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数

下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2012年第1週～15週)

2類感染症	結核	72例(6)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例(1)			
4類感染症	つつが虫病	12例	デング熱	1例	レジオネラ症
	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	5例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
5類感染症	後天性免疫不全症候群	1例			2例(1)

()内は今週届出分、再掲